

Leader's TOPICS

多様な環境課題と私の取り組み

神奈川県地球温暖化防止活動推進員、大気・水環境部会、自然環境部会 飯田富佐江



■ 環境学習での環境課題 ■

私は、幼い時から昆虫や野の花が大好きであったことからその自然環境を守りたい思いがあり、活動の根本には、「命を大切にすること」が不可欠とっています。そのための「地球環境にやさしく、生活環境にやさしく」が私の活動のテーマです。

環境学習においては、様々な環境課題が存在しています。例を挙げると、海洋汚染・マイクロプラスチック問題、地球温暖化・エネルギー問題、大気汚染・排気ガス問題、森林破壊・生物の減少、水質汚染・農薬や洗剤などの有害化学物質・排水処理問題、リサイクル・ごみ問題、遺伝子組み換え食品・添加物・アレルギー問題、外来種・生物多様性など様々です。小学6年生ともなると、TVなどの環境情報以外でも学校の色々な授業の中で学ぶ機会がありますが、これらの課題にどう取り組み、解決していくかが問われています。

■ 環境課題への多面的な判断 ■

環境問題を考える時、様々な環境問題を端的、狭量の立場で判断するのではなく、多くの知見をもって多面的に判断しなければなりません。課題解決することは簡単なことではありません。良かれと思った活動が、立場を変えれば不都合で、利害関係の相違が発生することが多々あります。

例えば、地球温暖化対策で再生エネルギーが促進されていますが、メガソーラーのために山林の木々が切り倒されたり、風力発電は非常に大きな資材を運ぶので道を切り開いたりします。バードストライクや騒音の問題も発生します。その時々状況を把握してより良い方法を選択しなければなりませんし、制度の問題もあります。電気代に再生エネルギー賦課金が含まれていますが、これはどういうものなのか正しく理解されているでしょうか。廃棄物処理に関してはリサイクルしているというだけで良いのでしょうか、その先にまで目を向けて、リサイクル全工程を考えたとき、最終処分や資源化の課題は解決されているのでしょうか。

私たちは、あまりにも多くの課題に直面しており、それらの問題を詳しく分析して問題解決に取り組むべきであり、私自身、物事は、一方からではなく多方面から見て判断していかなければならないと心がけています。

また、環境活動は平和活動と密接な関係にあると認識しています。なぜなら、ひとたび戦争が起きてしまえば、人間だけでなく多くの命が絶たれ、街が破壊され生活の場が破壊され、国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)を台無しにしてしまうからです。私たちが一生懸命に取り組んでいる環境活動は水の泡です。

■ 私の環境活動への取り組み ■

地球全体の人類の課題SDGsの一部を身近な生活環境課題として前項で羅列しました。これらを背景に、私は環境学習リーダー会の会員として、環境中に有害性化学物質を低減させる環境にやさしい手作り石けんの環境体験教室などを、はまぎんこども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブにて開催させていただいています。地元などでも水資源の汚染防止や安全な化学物質などについて普及活動に努めています。

私はこれらの環境活動で子どもたちに、色々な情報を得て学ぶこと、何が原因か、真実は何かを判断する力を養うことの大事さを伝えていきたいと思っています。そして、希望や理想をもって行動すること、日々の生活の中で少しずつでも前進しようと努めています。



水資源の循環系システムを学ぶ子どもたちと、筆者